

荒尾 マジック釣り大会



7月21日、ラムサール条約登録湿地としても知られる荒尾干潟で、荒尾マジック釣り大会を開催し、市内外から親子連れなど約800人がマジック釣りの格闘を楽しみました。

マジック釣りは市の魚にも登録されているヤドカリの仲間アナジャコの種類です。その釣り方は独特で、干潟をくわなどで掘ったときに出てくる巣穴に、習字で使う筆を入れ、マジック釣りが嫌がって押し出してきたところを狙って釣り上げるといいます。北九州市から初参加したという白石さん家族は「当たりが分かりにくくて難しい。ぜひリベンジしたいです。子どもたちは干潟を満喫したよう生き生きとしていました。来年も参加したい」と笑顔で話しました。

荒尾漁協前には、地元の特産品などを宣伝・販売するブース、マジック釣りの天ぷらの振る舞いもあり、荒尾の海の幸に舌鼓を打つ人の姿が多く見られました。大会終了後には、荒尾の海産物などが当たる抽選会も行われました。

子どもたちも干潟を満喫しました



釣れた記念に
勝利のポーズ



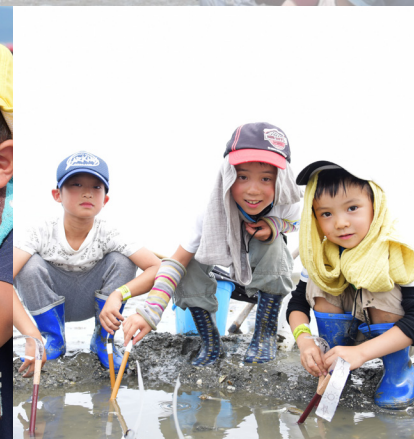
やったー♪
釣れた!



マジック釣りの天ぷらもおいしいね



これが
マジック釣りがあ



大きいマジック釣りがあ